

石毛くにゆき県議会レポート

発行/石毛くにゆき事務所 〒288-0817 銚子市清川町2-6-16 TEL.0479-24-1716 FAX.0479-24-1753

銚子の観光・産業振興を図ります

ふるさとのために、 真剣に誠実に実行!

平成15年4月の統一地方選挙において、皆様の大なるご支援によりトップ当選を果たした石毛くにゆき県議は、議会運営の中心的役割を担う議会運営委員や、自由民主党の政務調査会委員、千葉県議会の予算特別委員の設立メンバーにも選ばれるなど、新人ながら議会の内外において中心的な部分で活動を続けています。

また、平成17年度に県議会総務常任委員会の副委員長にも就任し、市町村合併破綻に揺れる銚子市に関して、県内の市町村合併を提言、県行財政改革で執行部と協議も重ねています。「銚子は合併による未来の地域のあり方に不満もあるだろうが、新合併特例法に基づく地方自治のあるべき姿を示す」として、銚子市民の意思を尊重した自主合併を基本に計画を考えています。

さらに県議会でも「銚子の観光・産業振興」を柱に「銚子連絡道路の早期整備」「銚子公園線歩道整備」「名洗海岸環境整備」などを提言要望して、銚子市民の視線でふるさとの将来を見据えています。

今後も、愛する故郷銚子のために議員活動に邁進する石毛くにゆき県議の、更なる活躍が期待されます。



ふるさと銚子を愛し、銚子のために活動する石毛之行県議

銚子連絡道や市町村合併で質疑・要望

石毛県議は、県議会の予算委員会や一般質問において、銚子連絡道路、市町村合併、教育問題、産廃不法投棄など、銚子市民の要望や声を受けた地域課題に取り組んでいます。

県が推進構想の策定へ

市町村合併

合併が不調に終わった銚子市。石毛県議は「日本社会の将来展望

で基礎自治体の規模拡大は必至。平成18年3月までに合併に至らなかった地域について、県は公平・公正な行政サービスが享受できる支援が必要。合併第2ステージへ判断できる情報、考え方を示してほしい」と質疑・要望しました。県は市町村の主体性を尊重しながら、推進構想の策定を進め、指導的な役割を果たすことを明言しました。

地域再生復興へ一刻も早く

銚子連絡道路

中でも銚子連絡道路は、観光・流通をはじめとする地域活性化のための高規格の基幹道路ですが、整備が進んでいません。

石毛県議は「松尾・光町区間6キロが事業化され約7年かかっている。このままでは銚子までに20年以上の歳月がかかり、人口減少や地場産業の不振で地域が衰退してしまう。地域再生復興のためにも、一刻の猶予も許されない

と議会で訴えました。

また、国道126号が旭市市街地などで朝夕に混雑している実情に、いち早く「銚子・飯岡間、旭市市街地の部分をバイパス的に先行整備してはどうか」と具体的に提言。

「混雑する部分は自治体と調整する」という答弁を受けました。確かな行動力で継続的に取り組み、結果へ導いた石毛県議は、「地域活性化の観点で踏まえ、地元自治体と綿密に連絡を取り進めてほしい」と、重ねて要望しました。

教育問題やスポーツ振興にも全力投球

トライアスロン大会開催

平成17年10月、石毛県議が会長を務める「銚子トライアスロン協会」主催の、第2回銚子マリナーナ国際トライアスロン大会が、約800名の選手と1万人を超える観衆を集め、盛大に行われました。

今年から国際大会へと昇格したこの大会は、銚子地区近隣のトライアスリート「自分達の地区で大会を開きたい」という夢に石毛県議が協力し、県警本部や関係各

所へ共に出向き、様々な努力を重ねた上で実現しました。

銚子市をアピールでき、産業振興に結び付く事業として注目されています。



充実の教育環境づくり

教育問題は、産業振興と共に情熱を注ぐテーマのひとつです。

石毛県議自身、3人の子供たちを育てていく上で、PTA活動にも積極的に取り組み、小学校のPTA会長、中学校のPTA会長を経て、銚子市教育委員、銚子市教育委員長を歴任しました。

また現在では、中学校の学校評議員として運営に協力するなど、より良い教育環境づくりにむけて精力的に活動を続けています。

今後も、PTAの皆さんと共に考

え行動した貴重な経験や、教育委員長として行政の方々と真剣に議論した経験を十二分に活かし、様々な問題に対し積極的に提言し、次代を担う人材の育成に取り組んでいきます。

